

対象地域	フランス リヨン (及びローヌアルプ州)	在リヨン出張駐在官事務所 リヨン日本人会治安情報収集チーム	
		作成日	対象期間
調査方法 新聞	Le Progrès 紙	2012年7月31日	2012年7月
集計情報の流布	未	在留邦人対象に各団体及び在リヨン出張駐在官事務所ルート	
調査項目:	① 邦人対象の治安情報 ② テロなどの一般治安情報 ③ 今月の出来事 ④ その他の情報		

報告要旨

1、邦人対象の治安情報

- A、 一般的傾向
- B、 地区別・犯罪集計結果：補足文書1
- C、 多発の手口と場所の特定、防止策：補足文書2

A、一般的傾向

今月は、空き巣・盗難が特に目立ちました。個人宅や商店を狙った空き巣の他、お年寄りを狙った偽の水道局職員・警察官の手口による犯行や宝石類を引きちぎる引ったくりの被害も数件報告されています。次いで脅し・暴力行為が多く見られましたが、これは知り合いや隣近所の住民同士の喧嘩などによるものがほとんどです。

[補足文書 1]

B、地区別 治安情報集計結果

地区別に見ると、特にリヨン東地区で犯罪発生件数が圧倒的に多くなっています。次いでリヨン3区、リヨン北地区、リヨン2区となっています。

2012年7月集計結果

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	リヨン東	リヨン西	リヨン南	リヨン北	7 ン 県	イゼール 県	ロワール 県	合計
殺人事件・凶悪事件																	0
すり																	0
空き巣・盗難		2	3						1	5		2	2	1	1		17
置き引き																	0
引ったくり		1															1
万引き																1	1
強盗・暴力窃盗			1				1	1		1		1	2		1		8
窃盗(車・自転車)		1															1
カー/ホームジャック										1							1
車内盗難							1			1							2
猥褻行為・強姦																	0
いたずら電話・迷惑																	0
脅し・暴力行為		2	1		2		2	2		4	2						15
詐欺(カードなど)														1			1
拉致・誘拐																	0
破損・放火			3				1	1	1	2			1			2	11
ストーカー																	0
麻薬取引・所持	2			1	1					2							6
飲酒/無免許運転										3			1		1		5
夫婦間暴力										1			1	1			3
軽犯罪																	0
合計	2	6	8	1	3	0	5	4	2	20	2	3	7	3	3	3	72

備考欄： リヨン東→Meyzieu, Saint-Priest, Bron, Vénissieux, Villeurbanne, Saint-Fons
 リヨン西→Craponne, Chaponost, Francheville, Tassin, Brindas, Brignais, Ecully, Sainte-Foy-Les-Lyon
 リヨン南→Oullins, Pierre-Bénite, Saint-Genis-Laval, Givors, Vernaison
 リヨン北→Rillieux, Vaulx-en-Velin, Décines, Caluire, Genas

* 数字はプログレ紙に掲載された軽犯罪の記事の数で、統計的な意味はない。

[補足文書 2]

C. 多発の手口と場所の特定・防止策（新聞による報道記事から）

夏期休暇も半ばに入っていますが、空き巣事件が増えているため、これからバカンスに出かける方は特に十分にご注意ください。例えば、自宅の所在地を管轄する警察署等に同地区のパトロールを強化してもらうよう申請することができます。いずれにしても、休暇に出る際は戸締りをしっかりすること、お隣さんに留守にする旨を伝えること、郵便箱から郵便物があふれ出ないように誰かに頼んで定期的に取り出して預かってもらうか、郵便局に休暇先住所への転送を依頼すること等が推奨されます。

また、バカンスの目的地に向かう途中も、すりや置き引き、車内盗難などの被害に遭わないために、十分な警戒が必要です。

- ❖ 詐欺：「アイルランドのアスファルト舗装業者」がローヌ県に
ここ数日、ロワール県で、格安料金で舗装工事を行うイギリス南部出身の業者たちによる被害が確認されている。テラスの改修、住宅や企業の建物入り口のアスファルト舗装、工具の販売……。特に法に違反するものではないが、通常の価格より大幅に安いだけあって、その質は粗悪なことが多い。同県ではすでに複数の被害届が出ている。被害に遭わないように、工事を依頼する際に正式な見積書を作成してもらうこと。また、他の業者にも見積書を依頼して値段を比較するとともに、工事の質も明確に伝えることが望ましい。現金支払いは避けることが推奨される。工具にしても、フランス国家規格である NF 認証のないアジア製の質の悪いものが多いので注意が必要。（プログレ紙 7 月 1 日）
- ❖ 4ヶ月ほど前から、リヨン東地区で眼鏡屋が空き巣に遭う被害が続出している。この4ヶ月で7件、うち6件が Pusignant や Saint-Bonnet-de-Mure などリヨン東部に集中しており、同じ店が数回狙われたケースもある。ターゲットはブランドもののサングラスだ。しかし、手口が若干異なることから、これらの事件がすべて関連していると断定することはできない。問題は、事件発生が深夜で目撃者がほとんどないことから、事件解明の手掛かりが非常に少ないことだ。盗まれたサングラスの数は1200個を超え、推定被害金額は10万ユーロにのぼる。（プログレ紙 7 月 22 日）

① 空き巣、盗難

- 7月1日深夜、Villeurbanne で、同市の商店で空き巣が発生した直後に前科のある住所不定の38歳の男が逮捕された。男は、店から盗まれた手袋とラップトップコンピュータが入った袋を所持していた。（プログレ紙 7 月 3 日）
- 7月4日深夜、リヨン3区で、リヨンに住む2人組が逮捕された。2人は地下駐車場の車庫で空き巣を働いたところだった。（プログレ紙 7 月 7 日）
- 7月6日夜11時頃、高速道路 A6 号線の Drac 付近で、ロシア人観光客が偽の警察官に4000ユーロを盗まれた。偽の警察官は回転灯の付いた覆面パトカーに乗っており、被害者に車を非常駐車帯で止めるよう要求。運転免許証等を確認し、車内を視察した後、現金を奪って逃げた。非常駐車帯での停車は危険なため、「本物」の警察官や憲兵隊員が今回のようにここに車を止めるよう要求することは基本的にあり得ない。（プログレ紙 7 月 10 日）
- 7月11日午後、リヨン2区の Bellecour 広場で、62歳の女性に近づきネックレスを引きちぎってひったくった22歳の男が警察に逮捕された。被害者の女性はひったくられた折に転倒し、挫傷を負った。（プログレ紙 7 月 14 日）
- 7月16日午後1時頃、リヨン3区で、自宅アパートの建物入り口付近にいたお年寄りの女性に水道局職員と称する女性が近づき、お年寄りのアパートまでついてきた。その後、警察官を装った男がやって来て、水道職員は偽者だと語り、何か盗まれていないか確認するよう要求した。男が去った後、金貨が盗まれていることに気が付いた。（プログレ紙 7 月 19 日）
- 7月25日午前10時頃、リヨン2区の Perrache 地区で、アパートの隣人を装った女が水漏れ

を理由にお年寄り女性の自宅に侵入した。その後警察官を装った男が登場。2人が去った後、この82歳のお年寄りは物が盗まれていることに気が付いた。(プログレ紙7月27日)

② 強盗・脅し窃盗

- 7月2日朝、Vaulx-en-Velinのスーパーに武器を持った覆面の2人組が押し入り、金庫の中身を脅し取った。事件が起きたのは午前7時半頃。2人組は店舗のある建物の近くに隠れていて、経営者がやってくると脅して金庫を開けさせ、現金数百ユーロを奪うとスクーターに乗って逃げた。(プログレ紙7月3日)
- 7月3日午前6時頃、リヨン8区で、開店直後のタバコ屋に2人組の強盗が押し入り、店を開けた経営者の娘に催涙ガスを吹きかけた。2人組は店内を探り、娘を乱暴に扱うなどした後、現金数百ユーロを盗むとそのまま歩いて逃走した。娘は5月29日にも開店直後に強盗にピストルで脅されている。(プログレ紙7月4日)
- Pont-Evêque (Isère 県) の郵便貯金銀行に2人組の覆面強盗が押し入り、1万ユーロを超える現金が奪われた。(プログレ紙7月5日)
- 7月5日午前9時頃、リヨン3区にある両替所で強盗事件が発生。証言者の話によると、ピストルを持った1人の男が押し入り、金庫の中身を脅し取ると従業員を中に閉じ込めて逃走したもよう。被害金額は不明。(プログレ紙7月6日)
- 7月6日午前5時20分頃、Caluireのタバコ屋に武器を持った3人組が押し入り、レジの現金と複数のカートンの入った箱が脅し取られた。(プログレ紙7月7日)
- 7月7日午後1時頃、Villeurbanneの4 Août通りにあるスーパーPetit Casinoに武器を持った覆面の2人組が押し入り、経営者を脅して武器で殴ると、レジの売上金を奪って逃げた。経営者は頭に軽い怪我を負った。(プログレ紙7月10日)

③ 暴力・窃盗事件

- 7月17日午後4時半頃、リヨン7区のJean-Jaurès通りで49歳の男が暴力窃盗の現行犯で逮捕された。男はホームレスで、18歳の男性から携帯電話を奪ったばかりだった。また、他にも同区で起きた3件の犯行を認めている。

④ カージャック・ホームジャック

- 7月22日午前6時半頃、Villeurbanneで、Feysine公園の駐車場に車を止めてジョギングを始めようとしていた女性が赤いセーターを着た男に脅され、車の鍵を要求された。男は被害者の車(プジョー106)に乗って逃走した。その後間もなく、Décinesで警察に自動車事故の通報があり、事故を起こした男は運転していたプジョー306を乗り捨てて逃走。目撃者によると男は赤いセーターを着ていた。同地区のパトロールの結果バス停で容疑者が逮捕された。容疑者はカーナビその他の盗品を所持しており、捜査の結果、運転していたプジョー306も前日Isère県で盗まれたもので、この車で事故を起こす前に女性から盗んだプジョー106を運転していたやほり事故を起こしていることが判明した。所持品の中から見つかった盗難品がどこで盗まれたものかをつきとめるため、現在捜査が続けられている。(プログレ紙7月23日)

2. テロなどに関する一般治安情報

特になし。

3. 在留邦人の被害事例

ローヌ＝アルプ州における被害報告は特になし。(在リヨン出張駐在官事務所ソース)

4. 今月の出来事

今年の12月5日より、エミレーツ航空がリヨン-ドバイ線を新規就航。エアバス A340-500、機が月、火、水、金、土の週5便運航される。同線はドバイを14時35分に出発し、サン＝テグジュペリ空港に19時に到着。20時55分に折り返す。第2ターミナルの利用となり、ビジネス旅行者専用のロビーが設置される。(プログレ紙7月5日)

コンフレアンス地区に3つ目のVélo'v(ヴェロヴ)ステーション：新しいステーションが設置されたのは同地区のノーティック広場近く。最新型自転車が計22台装備された。駐輪システムも強化され、自転車を盗むにはシステム自体を取り外さなくてはならない。
現在、リヨン市およびヴィルールバンヌ市全体で345のステーションを数え、年間登録利用者は4万3000人にのぼる。(プログレ紙7月12日)

5. その他の情報

「Tranquillité Vacances」キャンペーンで企業も安心して休暇に：
6月30日から9月2日まで、休暇で留守中の住宅周辺のパトロール強化により空き巣等の犯罪を防ぐ防犯対策、「Tranquillité Vacances」キャンペーンでは、個人宅だけでなく休暇で閉まる会社の建物もパトロールの対象になる。国家警察、憲兵隊、地方警察によるこのパトロール強化を利用するには、所在地を管轄するいずれかの署に出向いて、不在期間または閉鎖期間、緊急時の連絡先、防犯装置の有無などを用紙に明記するだけ。企業の場合、そのほかに事業内容や閉鎖時の配達等の有無といった情報を提供する。
昨夏、警察管轄区域では2807人が留守の届出をした。また、6月27日から9月4日の間に、84人の空き巣犯が現行犯で逮捕された。(プログレ紙7月13日)

今年初めからのローヌ県での交通事故による死亡者の数は20人で、昨年上半期の36人を大幅に下回っている。夏の間、特に7月14日の週末には交通取締りが強化される。(プログレ紙7月13日)